

「Do my best」の向こう側



皆さんはじめまして。昨年から諸口教室の個別クラスで英語・数学を担当させていただいている、鬼海侑吏(きかいゆうり)と申します。私は、中学3年から今福教室でお世話になっており、大阪国際大和田高校に進学後、現在は兵庫県立大学で社会情報科学を専攻しています。

さて、このコラムがGrowingに掲載されているのは公立高校入試が終わっていることかと思いますが、来年以降の受験生やこれから部活動等に動かし生徒たちに向けて伝えたいことをお話しします。

皆さん、勉強に部活動、学校生活と日々全力で過ごしているでしょうか。英語で「ベストを尽くす」=「Do my best」という言葉がありますが、「Do my best」できた自分と言い切れるようになるほど頑張ることは非常に大事なことでと思います。

ところが最近、ネイティブの間では「Do my best」という言葉は、「できないかもしれないがとやみくもやってみよう」といったニュアンスに変貌していることをご存じでしょうか。自らの最大限は発揮するが、心の底ではできないかもと思っている…。ほんとにそれは真の意味での最大といえるのでしょうか。私が大学入試の頃にやる気を出したときに聴いていた曲の歌詞に、こんなフレーズがあります。

「ベストを尽くすって言葉 それだけなら誰でも と言えるさ 結果出さなきゃ意味ない」

私はこの曲に出会って以降、ベストを尽くせ、という言葉は他人に向かって発さないように心がけています。ベストを尽くしても、結果を出してなければ、外側からは何もやらなかった人間と何ら変わらない目線で見られてしまいます。部活動の大会でも、ベストを尽くしたところで、負けてしまえばその時点で立ち位置が数字で残ってしまいます。テストの点数でも、ベストを尽くして勉強した、しかし結果が出なかった。すると成績という数字になって形だけで残ってしまいます。つまり、自分の

最大限で結果を出せなければ、その先がなくなるのです。このことを聞くと、残酷な現実のような感じがしますが、この曲の後半には次のような歌詞があります。

「火事場の馬鹿力を出せ 思いもよらないくらいどこから湧いてくる これだ 自分でも想像できなかった潜在能力だ きっと眠っている」

つまり、今自分が思っている限界には、その先があるのです。なのに、挑戦する人は自ら心のどこかでストッパーをかけて自分の限界値を決めてしまっている。勉強にしろ、部活動にしろ、そのストッパーを外すことを覚え、眠っていた潜在能力を呼び覚ませた人こそが勝利するのではないのでしょうか。常に完全な人間などいないのかなと思います。

ここまで長々と私が心を打たれた一曲についてお話してきましたが、限界を超えるためには、周りの人間を頼らざるを得ないと思います。そして開智生の皆さんには、優しい先生方が付いています。勉強で手詰まりしたと思ったら、ぜひ心置きなく話をしに行ってみてください。私もいつでも受け付けています。



マナロのちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE マナロ恭子 (バスカルクッズ・TK担当)

深掘りして考える力ありますか? ~こどもキャリアパークミラコラ~

私には子供が3人いるのですが、真ん中の次女は場面かんもく症というのがあり、外ではほとんど話せません。話したいのに話せない次女は友達作りも苦手です。もっと自分に自信をつけさせてあげたい。思春期になるまでに何かできることはないかなと思い、ネット検索していたところ、『ミラコラキャリア塾』というのを見つけました。惹かれたのは、「将来、社会に必要なとされ社会で活躍し、幸せな人生を自ら切り拓いていくためには」という言葉でした。いったいどういうところかという...

で勉強させてもらっています。大人でも「う〜ん...」とうなるような内容です。幸せ発見プログラムの題材の一部を紹介しますので皆さんと一緒に考えてみてください! 想像して、考えて、もっと深く考えて深掘りしてみてください。

Let's try!

あるおじいさんが森の中で飢えて死にそうになっています。森の動物達、熊やキツネはおじいさんのために餌を見つけてきます。でもウサギは何も見つけられませんでした。熊やキツネに責められ、ウサギも落ち込みます。そしてウサギはおじいさんが起こした火の中に自ら飛び込みました。自分を食べてもらおうと思ったのです。

★このうさぎの行動について 皆さんはどのように考えますか。

娘(小3)の意見は、「ウサギはおじいさんを助けるために自らを犠牲にしてとても優しいと思った」。

普通ですわね。全然深掘りできていない…。ミラコラ式の考え方で深掘りした子の意見はというと...

●食糧以外にも役立つ方法があったかもしれない。寒いから温めてあげるとか。

- おじいさんは死んでまで助けてもらいたかったのかなあ。おじいさんの気持ちも考えるべきだった。
- 死んでしまうとこの先未来に役立つ可能性を消してしまう
- 死んだら終わり。勇気はすごいけど楽な方法だと思ふ。

さすがですね。これはミラコラ式思考法の1つ。「A(餌を見つけた)かB(餌を見つけれなかった)だけでなく、AもBも良しとするCを考えよう! みんなが良しとなるZを考えよう!」という考え方です。皆さんの考えはどうでしたか。

勉強も大事ですが、自分がどう生きたいか、どう輝きたいか。また自分だけでなく、人のためにお役に立ちできることを探し、それがどんなに幸せなことか、そういう「生き方」を学ぶことも大事な事だと思いました。

「みんなの幸せが私の幸せ」という思いをもって、未来をつくっていくミラコラキャリア塾。次女ももうすぐ1年生なので長女と一緒に楽しみながら通ってくれたらなと思っています。そして実は!! カイチの塾長のジュニア先生がミラコラ「Bこころざし授業」のムービーに出演が決まりました! どのような教材になるのかとても楽しみです。

ミラコラについてご興味のある方は、ぜひ一度HPを見てくださいね。マナロにもご遠慮なくお聞きください。

社長のこころざしムービーを見てミッションにチャレンジ! 自分の考えをまとめます。



▲手塚治虫の「ブッダ」の冒頭場面より



3月10日(木)は公立入試です。受験生の皆さんガンバレ! 3月17日(木)は公立入試合格発表日です。3月20日(日)は元灘高校教諭の田中先生を迎えて、新高1生向けの教育講演会を行います。諸口教室10:00~、カイチ予備校14:00~です。ご参加ください。3月21日(月)よりカイチ予備校の春期講習がスタートします。高1は無料とさせていただきますので是非ご参加ください。3月22日(火)~3月31日(木)は小・中学部の春期講習会です。詳しい時間割は授業内で配布します。

カイチからのお知らせ

生徒と保護者と先生の共育ニュースレター



【本部】
城東区今福西2-1-8モデラートWASHIMI 201
TEL.06-6939-0008

【今福教室】
城東区今福西 2-9-20
TEL.06-6934-4662
【諸口教室】
鶴見区諸口 4-14-9-1F
TEL.06-6912-3984
【今津教室】
鶴見区今津南 1-6-2-1F
TEL.06-6167-9722
【高殿教室】
城東区成育 5-22-10-2F
TEL.06-6786-1008
【エニグマ】
中央区谷町 9-4-5-3F
TEL.06-6777-1563

【今福第2教室】
城東区今福西 2-16-8
TEL.06-6931-2000
【関目教室】
城東区関目 4-6-17-2F・3F
TEL.06-6934-8117
【古市教室】
城東区古市 3-21-8
TEL.06-6931-0467
【カイチ予備校】
城東区今福西 1-10-17
TEL.06-6935-2220
【万緑会】
天王寺区上本町 6-9-10-3F
TEL.06-6772-5011

March 2022 Vol.114
毎月10日発行

私立高校受験209名全員合格!
カイチ予備校も大躍進!!



高木 秀章 (塾長)



▲カイチ予備校も連日たくさんの自習生で熱気があります

大学受験は前期試験が終わり、高校受験も私立・国立の結果が出ました。(詳しくは挟み込み資料を参照ください)

大学受験は国立の結果待ちですが、私立は同志社大学2名、関西学院大学5名、立命館大学1名、関西大学3名、近畿大学7名など(その他多数)、開講して4年目、高1から通っている生徒達の2度目の受験となりますが、確実に進学実績が伸びてきました。

▲受験も最後の追い込み頑張ってます!

城東商店街のど真ん中という変わった立地ですが、教室内は高校生で凄い活気です。(ご興味がおありの方は「カイチ予備校」で教室の様子が見られます)現在は国立大学の結果待ちですが、生徒達の成果をドキドキしながら待ちたいと思います。

高校受験の国立では、教育大附属天王寺に1名、附属平野に4名、府立高専にも2名が合格。私立も中3生209名全員合格。(本当によかった!)奈良の帝塚山に1名、大阪では桃山のS英数、近大付属のSuper文理、四天王寺文理、大阪桐蔭1類、大阪国際αなど難関私立の合格が続出しました。今年はオミクロンの大流行で別日程での受験を強いられた生徒もいましたが、無事終わって本当に良かったです。生徒のみんな、保護者の皆さん本当にお疲れ様でした。

今この記事を書いているのが3月2日。公立高校受験まであと1週間です。教室では毎週土曜日に大予想模試が実施され、翌月曜日は内申点も考慮された予想合否が発表されます。毎週、生徒達は結果の張り出しをドキドキしながら見つめ、次の土曜日の大予想模試に向けて弱点箇所の補強や、英作や記述の添削特訓などに励んでいます。学力は最後の最後まで伸び続けます。特に、実力が拮抗する人々の中で合否が決まる公立入試は、最後まで緩まずやり抜けるかが鍵です。本当にあと少し。体に気を付け、一生に一度しかない今を悔いが残らないように頑張ってくれればと願っています。

今年度は文理学科併設校に約50名が受験する予定ですが、年々重要度を増しているのが英検2級取得です。ご存じの方もいらっしゃると思いますが、公立受験では英検2級取得者に本番での英語のテストの点数の80%が保証

される優遇制度があります。カイチでは受験制度の改革を見越して6年前から外国人社員の先生達を採用し、小学生用のトーキングキッズや中学生用の英検対策講座受験の指導に力を入れてきました。

その結果として、塾内の英検受験者数は200名を超え、各級の合格率も全国平均を大きく上回るようになりました。今年度の中3は英検2級に28人が合格しています。

英検をはじめTOEIC、TOEFLなどの英語の外部試験の採用は現在、ほとんどの私立大学受験でも実施されています。制度は各大学で様々ですが、東京の立教大学のように英語のテストはなしで外部試験のスコアで英語の得点を決定するという形式を取っている学校もあります。また、立教大学ほど極端でなくとも、多くの大学では願書の時点で、英語の評価を筆記試験と外部試験のスコアのどちらか選択できるようになっており両方で申し込むと、どちらか高い方の得点で評価される仕組みになっています。(この場合、受験料は2倍かかってしまいますが...)

そのような流れで考えますと、英検などの外部試験指導の必要性は年々強まってくると考えられます。ただ、私達としては英検や受験の合格に力を入れたつても、国際社会で生きなければならない皆さんが、外国人の人と片言でもいので物怖じせず話す姿勢を身につけて欲しいと考えています。

今年4月から関目教室の3階ワンフロアを改装し「かいち学童」が開講しますが、この学童保育にも日本人のスタッフの先生に他に、ルイージ先生にも関わっていただくことにしています。幼少期から外国人の先生と触れ合う機会がある。より実用性の高い英語が求められる社会において、少しでも子供達の将来の助けになればと考えています。



▲カイチ学童の教室。オープン4月には30坪の大きな教室になります。

インスタのフォローをお願いします!

カイチ学童
詳しい内容はこちら

カイチ予備校
教室の様子はこちら

Focus

CLASSROOM REPORT 教室レポート

諸口教室紹介

諸口教室を支える 生徒想いの優しい非常勤の先生達



岩崎 正樹 (諸口・今津教室)

諸口・今津教室を担当している岩崎です。私が正社員として、開智に入社してもうすぐ1年を迎えようとしています。(早いなあ〜)そこで、今回は私が非常勤の時からいる諸口教室についていくつか紹介していこうと思います!!

《生徒想いの先生達》

諸口教室の良さといえば、思い浮かべるのは非常勤の先生達の頼もしさでしょうか。諸口教室には多数の非常勤の先生達が働いており、それぞれが素晴らしい個性を持っています。その中で何人かを紹介したいと思います。

まず初めは鯉田先生、彼は同志社大学の2回生であり、今は月曜日に私と共に中学1年生Aクラスと中学2年生標準クラスの数学を見て学んだり、実際に授業をしたりしていて、木曜日は個別指導に入って、生徒達を引っ張ってあります。授業後はいつも、「あそこがダメだった。」や、「ここ良かったよ!」と、私と毎回反省会を行っています。時々小さなミスを犯してしまい、生徒に逆に指摘をされることがあります。最近ですと、ある面積を求める問題で、その面積の求め方を間違えて教えてしまいました。問題を正解していた生徒がツッコミを入れる。という事がありました。ミスは今後少しずつ減らしてもらいたいです。ツッコミ自体は私的には良いこと!と認識しております。なぜならそれは、生徒達と良い関係を築けている証拠であり、生徒達もしっかり耳を傾けている証拠です。そして、それは普段から鯉田先生がいつも授業の準備を一生懸命用意したり、生徒達とコミュニケーションを取っているからこそです!こうやって鯉田先生が頑張っているのを見ると、自分も大学生の時、坪田先生

や高木先生にたくさんのことを学んだなあと思ひ出します。(まだまだ足元にも及びませんが)



次は、個別指導の先生達の紹介です。個別指導の先生達はとってもとっても生徒想いです!! 個別授業がある月曜日、木曜日、土曜日は授業後でも生徒達の質問を聞いたり、相談に乗ったりしています。また、集団授業の生徒達の質疑応答や、自習に来ている生徒などの質疑応答も行っています。時間になり、生徒達をお家に帰して掃除を済ましたら、反省会スタートです!! 毎回、個別の先生たちは真剣に頭を悩ましております。先生達同士で、「あの子はここが苦手やからこそ

の対策をしよう」、「あの子は、後半が疲れて集中力が無くなるからこうしよう」などたくさんの事を悩み、共有し、次に生かそうと考えております。生徒のことを考え、生徒が成長するために必要なことは何か。と悩むことは、私達先生が常に考え続けなければならない事です。そういう姿勢を見習いつつも自分も忘れないようにしております。

そうそう、先生の割合も実は、男性の先生が6人いるのに対し、女性の先生は4人と、バランスが良いです。ですので、子供達も自分にとって話しやすい、聞きやすい先生に相談してみるとよいですよ!

今年の中学3年生というのは、私が大学1回生の時、初めて集団指導で持たせてもらった学年であり、自分にとっては一番気持ちが入っている学年です。当時、生徒達は小学5年生で、人数も10人ほどしかいませんでした。ですが、気づけば60人越え…本当にたくさんの子供達が開智に来てくれました。私が見たいのは生徒の喜んだ顔で、そのために毎年頑張っているといっても過言ではありません。みんなを志望校に合格させたい。そのために最後までみんなと戦い続けたいと思います。



Education

KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育



岸田 圭滋 (今福教室長)

『新しい国語指導』

①最近の国語を見て思うこと

突然ですが、質問です。この1週間で、学校の国語の宿題に「教科書の本読み」が出たという人はいますか?小学生なら当たり前だと思う宿題ですが、実はそうでもないことが分かりました。去年の秋ごろに、今福教室の小学4年生から6年生の三者懇談を行いました。冒頭の質問を、保護者の方と生徒の皆さんに投げかけたところ、実に2割のクラスしか「教科書の本読み」の宿題が出ていないという返答をもらいました。また驚くことに、同じ小学校の学年でもクラスによって宿題の量の差があることもわかりました。

声に出して読むことは、年を重ねるごとに恥ずかしさや面倒だという理由で疎遠されてしまいます。しかし、大声に出さなくても、小さくつぶやきながらでも効果は絶大です。では、どのような効果があるのでしょうか。まず、1つ目は『文章を、リズムよくスラスラ読めるようになる。』です。最初は詰まりながら読んでいた文章でも、何度も練習することで読めるようになります。斎藤孝さんの著作である『声に出したい日本語』にもあるように、幼いころから美しい日本語に触れることは、意味が分からなくとも体では習得しています。「素読」という学習方法も、そのひとつです。また、監修をされているEテレ『にほんごであそぼ』では、論語や古典落語を子供が暗唱している視聴者の動画コーナーは圧巻です。2つ目は『読み方がわからない漢字に気づくことができる。』です。本読みをしながら漢字の読み方がわからない字に出合えばチャンスです。ぜひ調べてみましょう。3つ目は、2つ目と似ていますが『わからない言葉に気づくことができる。』です。言葉の意味は意外と説明できないことがあります。知っているふりをしていすると、その場はしのげますが後から恥ずかしい思いをすることがあります。意味がわからなければ、誰かに聞くことも大切です。そして何より好奇心が芽生えます。4つ目は『いろいろなジャンルの話に触れることができる。』です。教科書に載っている話は、自分の好きなジャンルだけではありません。中には興味のわかないテーマの文章にも出会います。以上の4点から、苦手な話も声を出して(または、つぶやきながら)読み、わからない言葉を調べ、理解することができるのです。教科書は一番身近にある最高の参考書ともいえるでしょう。

②文章読解力がすべての教科に影響している

国語と並んで語学系の教科といえば英語です。カイチでは英検にも力を入れています。5級から2級まで、たくさんの生徒の皆さんが勉強しています。でも、国語という教科がどうも置き去りにされているように感じます。まず、日記や作文を書く機会が極端に減っています。学校の先生も毎日授業の準備やそのあとの作業で、毎日が忙しいです。英語やプログラミングなど、新しい教育が小学校でプラスされ、その準備に追いつくのも大変です。

もちろん、高校入試の国語では、作文が毎年出題されます。しかしながら、国語以外にも文章読解力が試されています。特に理科と社会は一つの小問の中の文

章量が10年前と比べてみると明らかに長くなっていきます。知識だけを問うのではなく、自分の持っている知識をいかに組み合わせさせて表現するかという力が問われています。

国語・数学・英語は高校によってどの問題が出題されるかが毎年夏の終わりから秋の間に決まります。理科と社会はどの高校も同じ問題です。各教科90点満点です。そこで、令和3年度の公立高校入試において、国語の記述問題の「無答率(空白で終わった生徒の割合)と得点率(書くことができ1点以上点数が取れた生徒の割合)」を調べてみました。

	記述問題						作文	
	上段:得点率・下段:無答率(%)						A問題 180字	B問題 260字
※漢数字は大問番号、()内の数字は小問番号を表しています。								
A問題	二(4)a	28.5	四(3)	26.9			39.4	
		30.8		20.0			9.2	
B問題	一(2)	37.4	四(3)	34.4			54.1	
		3.6		10.6			1.0	
C問題	二(4)	58.3	三(3)a	58.4	三(3)b	56.0	42.3	
		8.6		1.8	1.8	四(2)	8.2	
							54.2	
							0.0	

この資料の興味深いところは、作文は書けたからと言って得点がすべての人に与えられないということが、得点率から分かります。制限時間内にある程度の文字数(9割以上)の作文が書けなければ減点対象です。無答だったらもちろん0点です。もちろん、表記点(漢字間違いや送りがなミスなどはないか)と内容点(意味が通っているかや条件に合っているか)のどちらもチェックされます。ただ文字を埋めても意味が通らなければ減点されます。

③平日頃から文章を書く習慣

毎年教科主任は来年度のカリキュラムを11月ごろから着手します。2022年度のカリキュラムを作成する際に、目玉として入れたのは「作文」と『短文と意味調べ』の習慣づけです。小学4年生から中学2年生まで、作文を原則毎授業で行います。(ただし、中学1・2年生は定期試験対策期間を除きます。)また、小学生は漢字テストで出てきた言葉の意味を2、3個辞書で調べ、短文を作ります。ご家庭にある辞書を持ってきて意味を調べる習慣を身につけようという狙いです。スマホや電子辞書、タブレットなどで簡単に調べることが当たり前の世の中ですが、あえて時代と逆行して紙の辞書を使います。

漢字テストの勉強は、何回も書いて練習することが大切です。でも、それ以上に大切なのは気になった単語を見つけて、意味を調べることです。そして、その調べた漢字を使って短文を作ります。文章を書くのが不慣れな人は、最初は戸惑うかもしれませんが、個人差もあるので、時間がかかる人もいるかもしれません。でも、目先のことを考えるのではなく、目標は中3になるまでに文章が書ける人を育てたいのです。

④ご家庭の協力もお願いします

毎週1〜2回の国語の授業中の一部で行う新しい取り組みです。小学生の保護者の方々には、もう一度お子様の『教科書の本読み』に興味を示してあげてください。新しい学年があと1か月で始まります。新しい教科書をもたらしたら、ぜひ去年使っていた教科書を捨てないでください。何回も読み直して、文章に触れる機会を大切にしてください。

図書館や学校の図書室で本を借りることはもちろん素晴らしいです。そして、教科書というものをもう一度再確認していただければ幸いです。お子様の文章読解力や記述力が少しずつ身につくことを信じて、来年度の国語科の新しい取り組みを、優しい眼差しで見守っていただければありがたいです。

新年度の入塾説明会にいらっしゃった方にもお伝えしていますが、2022年3月11日より、今福教室長になりました。2019年11月に開智総合学院にやって

きてから2年と4か月ほど経ちます。19歳の塾講師のアルバイトから今年で24年目を迎えます。今福教室には多くの生徒の皆さんが通ってきてきています。その後ろには我々のことを期待して、大切なお子様を預けていただいた保護者の方々がいっぱいいます。一人でも多くの期待に応えられるよう、精進する毎日です。至らない点がありましたら、おっしゃってください。その日一日中はめっちゃめっちゃ落ち込みます。でも、反省して次に生かすことをしながら、私も成長していきます。

開智総合学院には「理念」があります。その中で、『1人の子の成長が、他の子の成長も促し、それを見守っている保護者の成長も促す。そして、何より子供たちを指導している先生が成長する。』をいう部分を、より一層自分自身に問いかけながら過ごす日々を送ってまいります。どうぞ、これからも今福教室をよろしくお願いたします。

